

FC CLARTE 15th anniversary

ヒナモロコ杯ジュニアサッカー大会

U-12



開催日：令和8年1月24日（土）

令和8年1月25日（日）

会場：久留米市東部運動公園

主催：ヒナモロコ杯実行委員会

FC CLARTE・FC CLARTE 保護者会



FC CLARTE 15周年記念 ヒナモロコ杯ジュニアサッカー大会 (U-12)

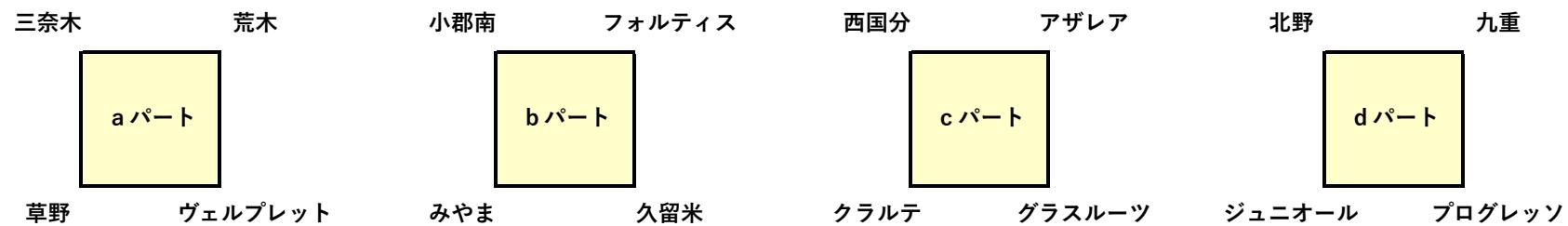
1. 期日 令和8年1月24日 (土)・25 (日) ※小雨決行
2. 開催地 久留米市東部運動公園 (久留米市田主丸町中尾 1270)
3. 主催 ヒナモロコ杯実行委員会 FC. クラルテ FC. クラルテ保護者会
4. 参加費 10,000円
5. 参加資格
 - ・責任ある指導者が同伴すること。
 - ・選手はスポーツ障害保険に加入していること。
 - ・主審ができる審判員を帯同すること (審判服の着用は自由)。
6. 協議規則 U-12 : 8人制・サイズ68m×50m
 - ・本年度日本サッカー協会協議規則に準ずる。
7. 組合せ 主催者により抽選・決定する。
8. 競技方法
 - ・試合時間は、U-12 : 15分-5分-15分とする。
 - ・試合時間内にて勝敗が決まらない場合は、PK (3名) にて勝敗を決定する。
9. 表彰
 - ・決勝トーナメント 優勝・準優勝・3位
 - ・フレンドリートーナメント 優勝・準優勝・3位
 - ・個人賞 各チーム1名
10. 昼食時イベント
 - ・土曜日: こどもゲーム (別紙)
 - ・日曜日: 保護者ゲーム (別紙)
 - ・細かいルールは、当日説明いたします。また、組合せは当日抽選にて決定いたします。
 - ・上位チームには賞品あり。
11. その他
 - ・ゴミ等は、各チーム責任をもってお願いします。
 - ・観戦する際に、保護者の指導 (コーチング) や相手チームへの誹謗中傷また、審判へのクレームは行わないようにお願いします。
 - ・悪天候にて中止の場合は朝7時に代表者へご連絡します。小雨決行です。
 - ・大会中の事故・ケガ等は、各チームにて対応をお願いします。
 - ・開会式は行いません。閉会式のみ行います。また監督会議を本部にて9時30分から行いますのでよろしくお願いします。
 - ・駐車場は専用駐車場・芝広場駐車場と十分準備していますのでご利用ください。またご利用の際、荷物等で駐車場を確保する等の行為は、トラブルになりますのでご協力お願いします。
 - ・会場内での飲酒はおやめください。
12. ご連絡先
 - ・FCクラルテ 田中昭好 (コーチ)
携帯: 090-7159-4407 メール: moon_21_football_club@yahoo.co.jp

FC CLARTE 15th anniversary ヒナモロコ杯U-12

参加チーム一覧

No.	チーム名
1	三奈木サッカースポーツ少年団
2	草野FC
3	荒木FC
4	Verpreto三国
5	小郡南サッカークラブ
6	みやまフットボールクラブ フェザント
7	フォルテイス
8	久留米フットボールクラブ
9	西国分ジュニアサッカークラブ
10	久留米AZALEA
11	グラスルーツ WS
12	北野FCヴェンセル
13	うきはFCジュニオール
14	AZ九重SSC
15	Progresso Fukuoka FC
16	FC CLARTE

★予選リーグ【1日目】

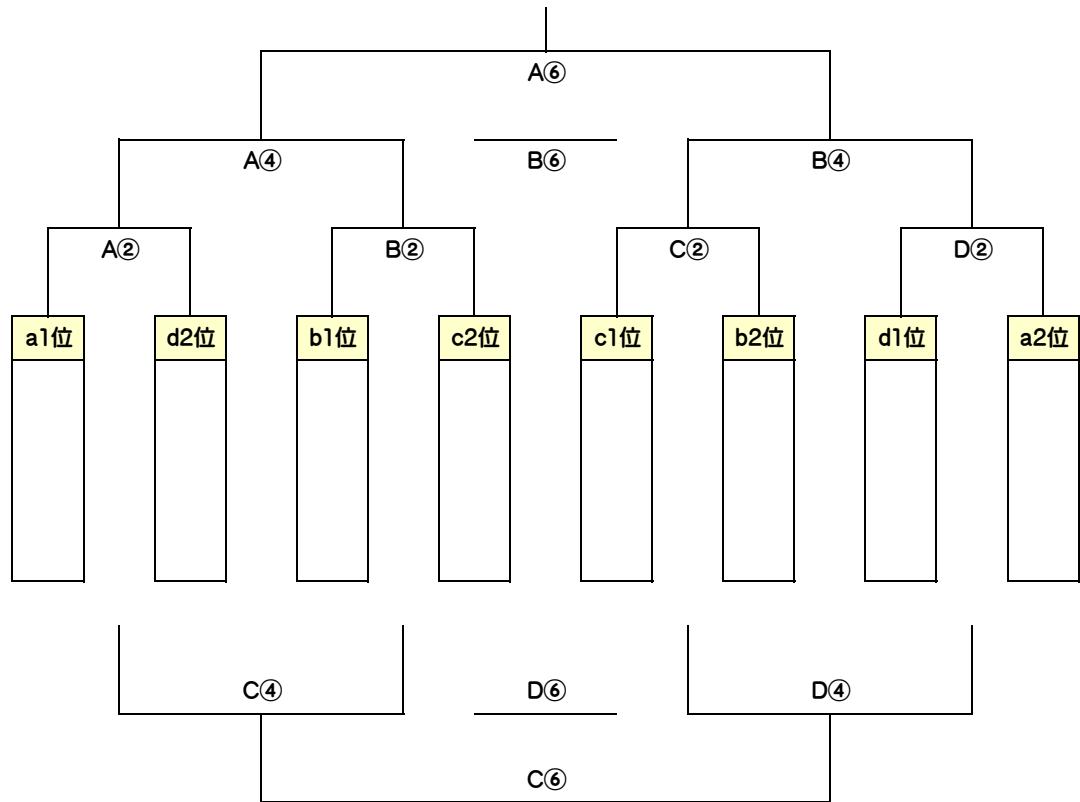


No.	開始時間	Aコート			Bコート			Cコート			Dコート						
①	10:00	三奈木	—	草野	相互	荒木	—	ヴェルプレット	相互	小郡南	—	みやま	相互	フォルティス	—	久留米	相互
②	10:40	西国分	—	クラルテ	相互	アザレア	—	グラスルーツ	相互	北野	—	ジュニオール	相互	九重	—	プログレッソ	相互
③	11:20	三奈木	—	荒木	相互	草野	—	ヴェルプレット	相互	小郡南	—	フォルティス	相互	みやま	—	久留米	相互
④	12:00	西国分	—	アザレア	相互	クラルテ	—	グラスルーツ	相互	北野	—	九重	相互	ジュニオール	—	プログレッソ	相互
昼 食 ・ こどもゲーム																	
⑤	13:30	三奈木	—	ヴェルプレット	相互	草野	—	荒木	相互	小郡南	—	久留米	相互	みやま	—	フォルティス	相互
⑥	14:10	西国分	—	グラスルーツ	相互	クラルテ	—	アザレア	相互	北野	—	プログレッソ	相互	ジュニオール	—	九重	相互

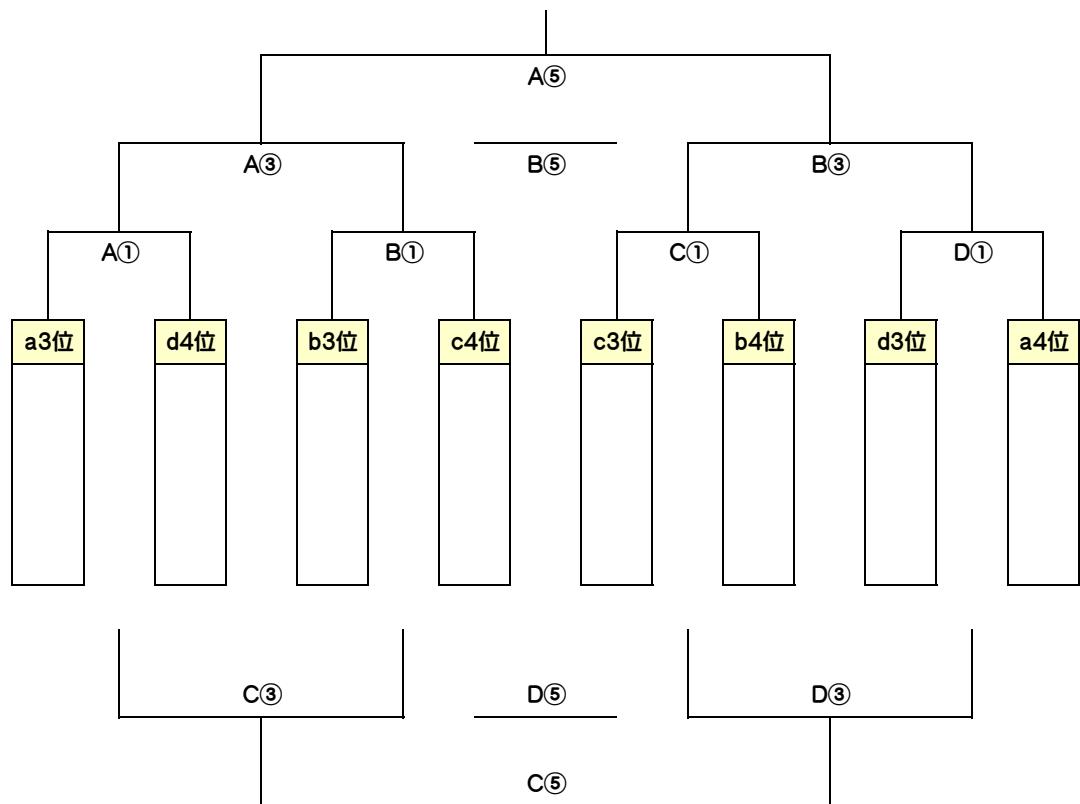
★予選リーグ【1日目】

★決勝トーナメント

【2日目】



★フレンドリートーナメント



2日目タイムスケジュール

No.	開始時間	Aコート			Bコート				
①	10:00	a3位	-	d4位	相互	b3位	-	c4位	相互
②	10:40	a1位	-	d2位	相互	b1位	-	c2位	相互
③	11:20	Aコート①勝	-	Bコート①勝	相互	Cコート①勝	-	Dコート①勝	相互
④	12:00	Aコート②勝	-	Bコート②勝	相互	Cコート②勝	-	Dコート②勝	相互

昼食・保護者ゲーム

⑤	13:30	Aコート③勝	-	Bコート③勝	相互	Aコート③負	-	Bコート③負	相互
⑥	14:10	Aコート④勝	-	Bコート④勝	相互	Aコート④負	-	Bコート④負	相互

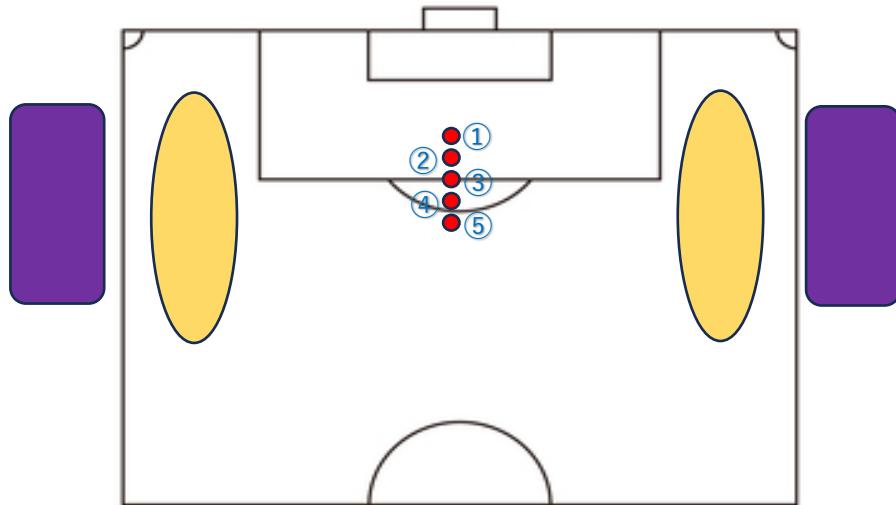
No.	開始時間	Cコート			Dコート				
①	10:00	c3位	-	b4位	相互	d3位	-	a4位	相互
②	10:40	c1位	-	b2位	相互	d1位	-	a2位	相互
③	11:20	Aコート①負	-	Bコート①負	相互	Cコート①負	-	Dコート①負	相互
④	12:00	Aコート②負	-	Bコート②負	相互	Cコート②負	-	Dコート②負	相互

昼食

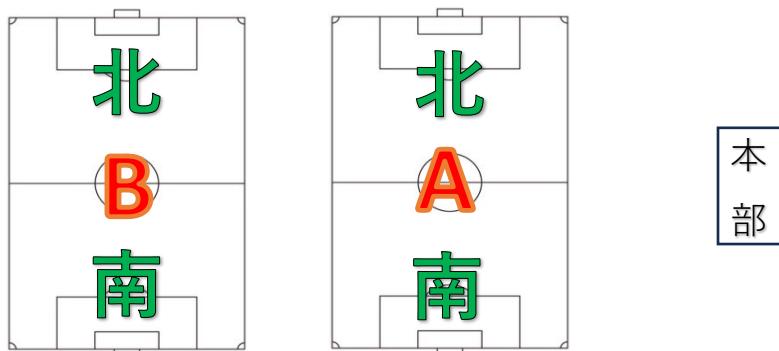
⑤	13:30	Cコート③勝	-	Dコート③勝	相互	Cコート③負	-	Dコート③負	相互
⑥	14:10	Cコート④勝	-	Dコート④勝	相互	Cコート④負	-	Dコート④負	相互



1/24 (土) こどもゲーム



【ゲームのコート図】



PKしている選手と
同じチームの応援者

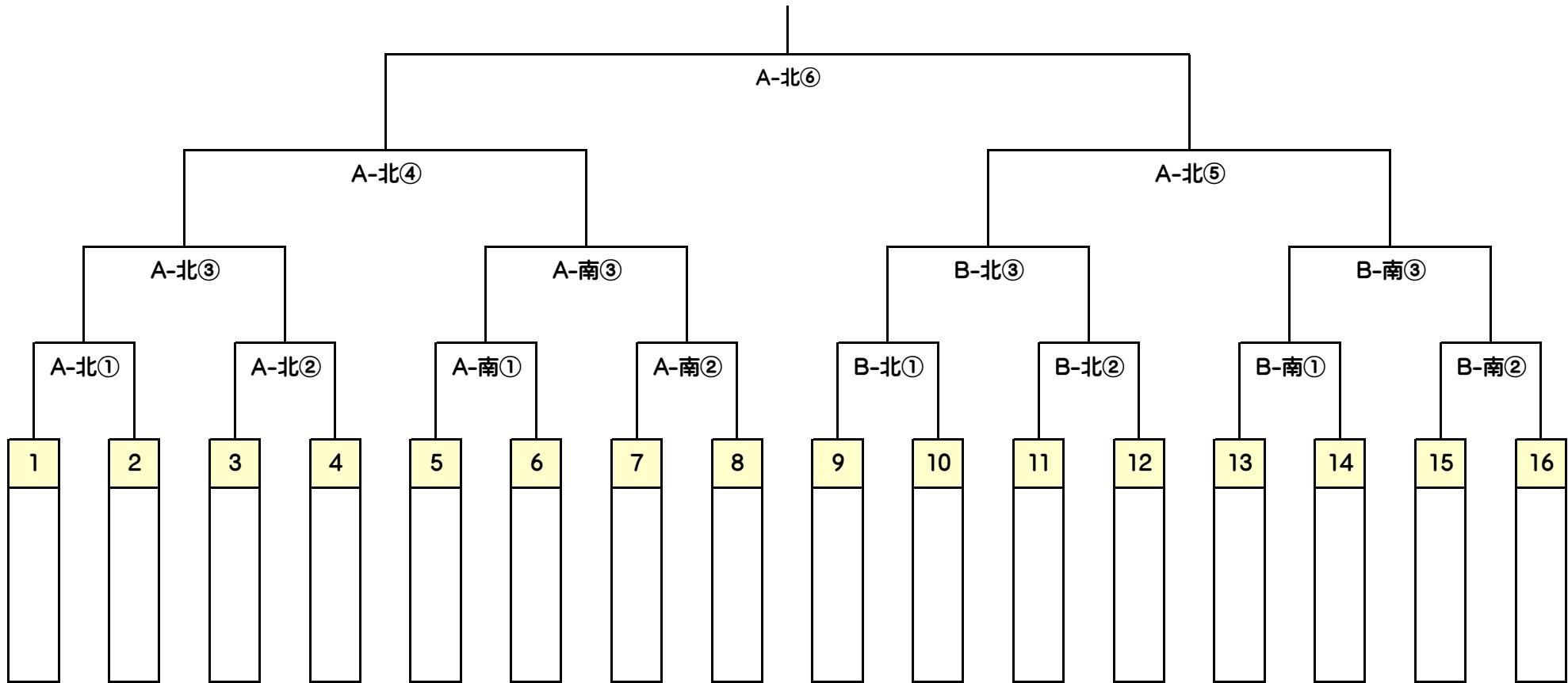


それ以外のチームと
応援者

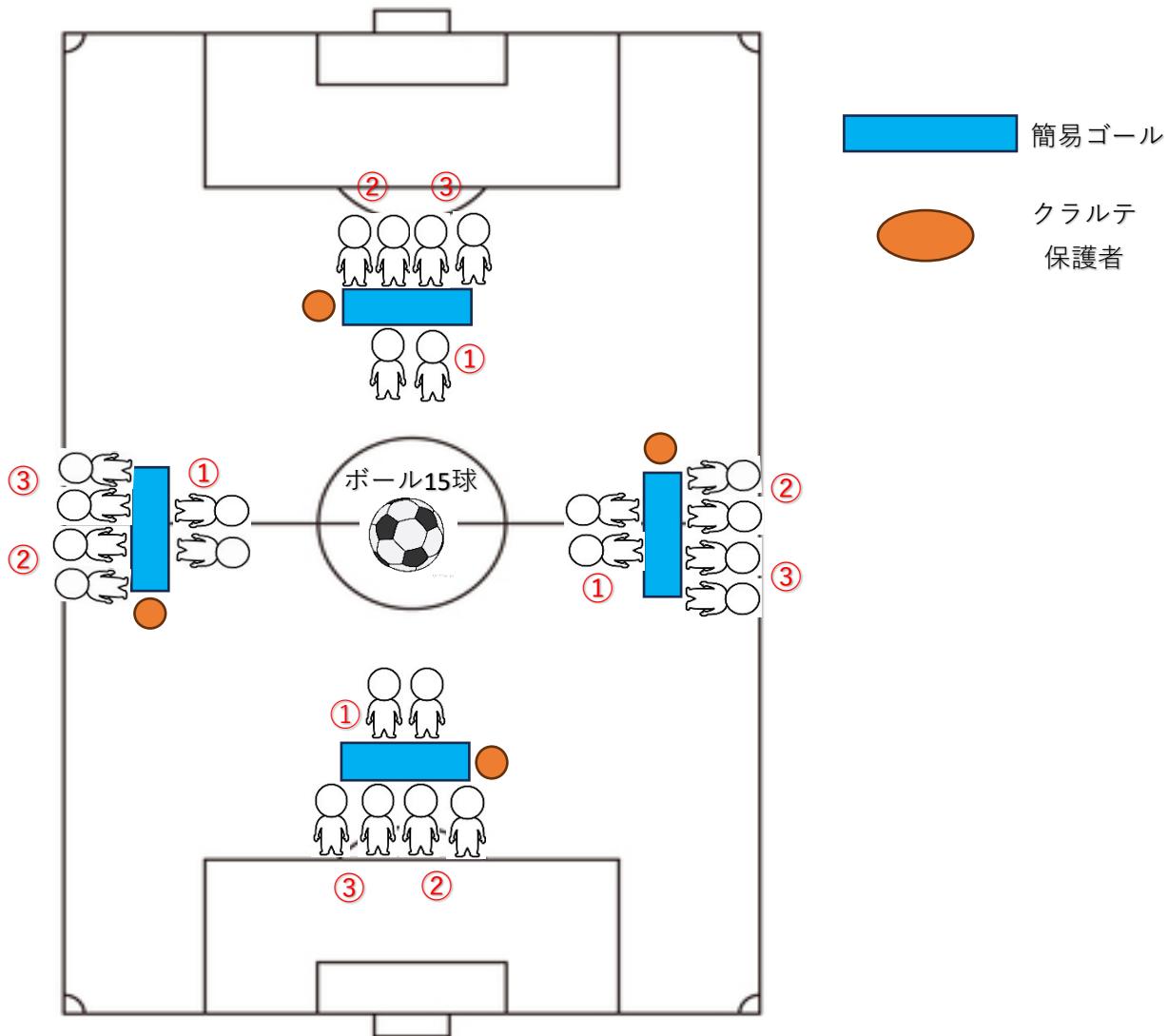
《ルール説明》

- ボールは各チーム1球、持ってきてもらう。
- 各チーム5人選出し、PK対決する。
※1回戦のみ5人で、勝敗がついても全員蹴る。
- 監督会議でくじを引いてもらい、トーナメントの左側になったチームが先攻とする。
- 通常のPKではなく、1人目は10m、2人目は11m・・・の位置から順に蹴っていき、5人目は14mから蹴ってもらう。
- サドンデスになった場合は、14mの位置から蹴る。
- PKをしているチームのみ、ピッチ内での応援OK。
それ以外のチームは、ピッチ外で応援する。
- 表彰は上位2位までとする。

こどもゲーム



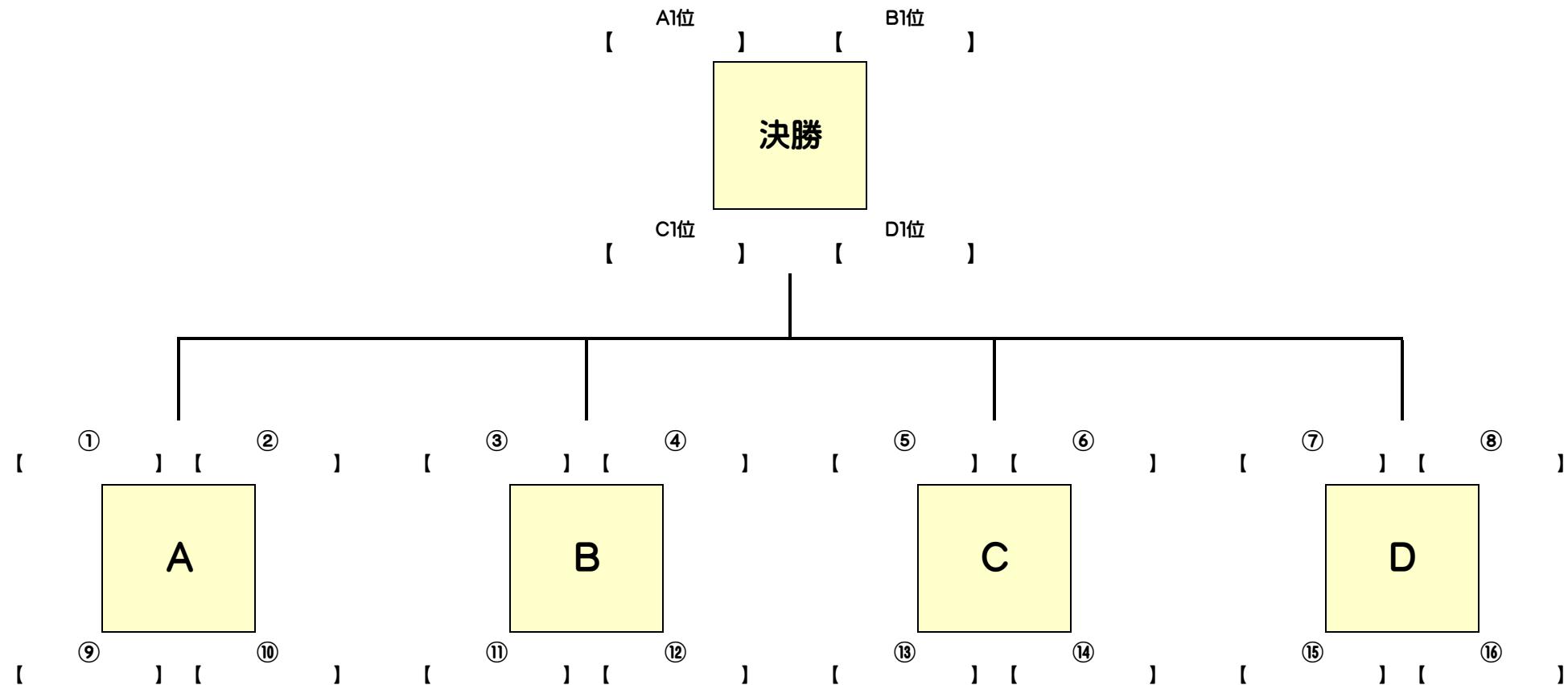
1/25 (日) 保護者のゲーム



《ルール説明》

- 各チーム、パパ3人・ママ3人計6名ずつ選出し、2人1組でゲームに参加する。
- チームでサークル内のボールを1人1球ずつ取りに行き、
ドリブルで自分のチームのゴールまで運んできてゴールに入れる。
- スタート時点では、サークルの中に15球用意している。
- 他のチームのゴールに入っているボールを取りに行ってもOK。
- プレー中は他のチームのプレーを邪魔してはいけない。
- 終了時点で、よりゴールにボールが入っているチームが勝ち。
- 4チームずつで対戦し、1ゲーム3分とする。1位のみ勝ち上がりとする。
- 決勝戦は4チームで行い、5分間とする。
- 表彰は上位2位までとする。

保護者ゲーム



ヒナモロコ

ヒナモロコ(雛諸子、*Aphyocypris chinensis*)はコイ科に属する魚。中国や韓国などアジア東部に広く分布するが、日本では九州の福岡県久留米市田主丸町大字竹野地区山間部の用水路にのみ分布する。そのため、かつて日本列島が大陸と地続きであったことを証明する魚と言われる。静岡県某所でも繁殖が確認されているが、九州の個体群とは外部形態や生息環境に違いがあるため、大陸系の別亜種が移入し、定着した可能性がある。

形態 全長は約7cm。カワバタモロコに似ており、側線は不完全で胸鰓上方までしかない点は同じである。しかし、腹の断面が丸く体高が低い点が異なる。体側に薄い黒線があり、繁殖期のオスは体色が金色になるがカワバタモロコほど黄色味が少ない。また追星が出る。

生態 平野部の流れのゆるやかな小川や浅い湖沼、用水路に生息する。雑食性で水生小動物や付着藻類などを食べる。繁殖期は6月から7月頃で、水温の高い時期に水草へ産卵する。寿命は3年から4年と言われている。

その他 絶滅危惧IA類(CR)(環境省レッドリスト)に選定されている。

福岡県久留米市田主丸町では、地元の竹野小学校の生徒が用水路で偶然再発見したことをきっかけに、市民が中心となって環境保全を含めた保護活動が行われている。コンクリート化される予定であった用水路を石積みの工法に変更したり、里親制度を作り繁殖に取り組んでいる。

野生下でのヒナモロコ(福岡県)、角度や生理条件によっては体全体を走る太い黒条が目立つ。

また、2007年2月には、日本魚類学会が福岡県に対し、久留米市で予定していた農地整備事業の中止を求める要請書を提出した。県では、それを受け専門家や保護団体と協議した結果、ヒナモロコが繁殖できる多自然型水路による農地整備を行っている。

